

環境に対する取り組み

コニカミノルタグループは、 「環境トッパー」を目指します。

コニカミノルタグループでは、中期経営計画『FORWARD 08』の基本方針に「グローバルに通用するCSR経営」を掲げています。なかでも、ものづくりを生業とする企業として環境への配慮を常に考えることを最重要としています。

「企画、開発、調達、生産、物流、販売、回収・廃棄など」企業活動のすべてにおいて環境マネジメントを導入し、事業活動がもたらす地球環境への負荷の極小化に取り組む一方、世の中に送り出す製品が環境に与える負荷が小さくてすむような環境技術の創出にさらに力点を置いて取り組んでいきます。

グループCO₂排出量削減目標
2010年度 20%削減
(2000年度比、製品ライフサイクルにおいて)

コニカミノルタグループは、地球温暖化防止への貢献、循環型社会への対応、化学物質リスクの低減に主眼を置いた活動をグローバルな視点からグループ従業員が一丸となって取り組み、「環境トッパー」を目指します。

コニカミノルタのCSR活動に関する詳しい情報はWebサイトで公開しています。
<http://konicaminolta.jp/about/csr/index.html>

地球温暖化防止に省エネ技術で貢献

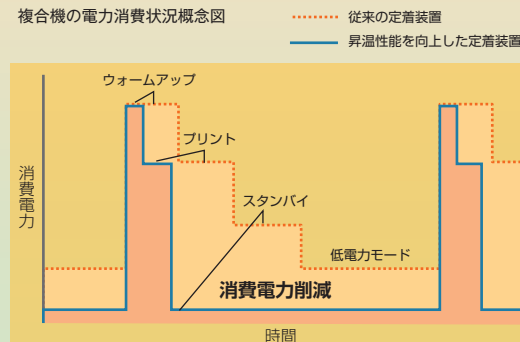
省エネ技術いろいろ:カラーMFPの場合



IH定着

クッキングヒーターなどでおなじみのIH (Induction Heating) 技術は、電力を効率よく熱エネルギーに変換できるという特長を持っています。加熱効率の高いIH定着の採用によって待機時の消費電力を抑えることができるので省エネルギーに貢献します。

複合機の電力消費状況概念図



重合法トナー

独自開発の重合法トナーは、粉砕法に比べて生産時のCO₂発生を約30%削減しています。また、低温溶融するため、紙へのトナー定着での消費電力削減にも有効で、お客様側での省エネルギーにも貢献します。

重合法トナーを今後もさらに進化させ、より多くのMFPやプリンタに搭載していきます。

